

## SDG sの視点を活かして ～JICAのワークショップから～

周防大島町立城山小学校 教頭 山本 直

(平成17年度派遣 アラブ首長国連邦 アブダビ日本人学校)

### 1. はじめに

毎年 JICA さんのワークショップに関わらせていただき、国際教育の新しい視点をいただいている。今年は夏の研究大会で、久しぶりに対面式のワークショップを実施することができた。本当に嬉しいことであった。

今回、JICA さんから教えていただいたワークショップを実践した。その一部を紹介する。

### 2. 授業の実際

#### 「みんなのSDG s大作戦 ～委員会の活動を見直してみよう～」

今回は、第6学年を対象に行った。SDG sについては、以前から知識としてもっており、具体的な内容の話から進めることができた。

#### 【すすめ方】

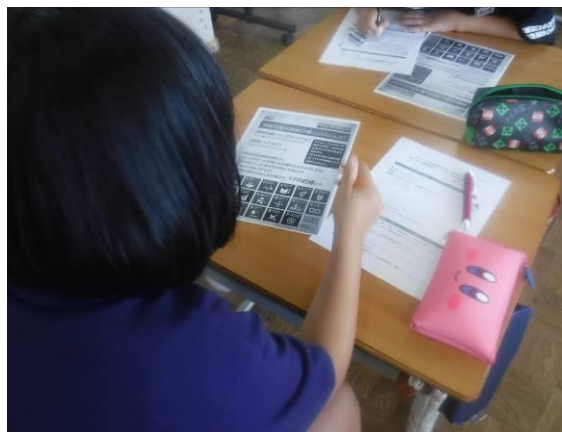
- ①自分が所属している委員会について、SDG sの視点で活動を見直す。
- ②ワークシートに記入する。
- ③同じ委員会の人と情報を共有する。また、全体で情報を共有する。

第29回 山口県国際教育研究大会【第2部 ワークショップ】  
「楽しく学べる国際教育のワークショップ～SDGsについて考える～」  
氏名 ( )  
ワーク1: みんなのSDGs大作戦!～いろんな立場から課題解決を考えよう～  
課題:  
委員会:  
解決策: 各委員会の立場から、課題解決を考えてみよう!  
※参考資料: NAGANO SDGs PROJECT  
『みんなのSDGs大作戦!』～いろんな立場からSDGsを考えよう～



児童は、どこかの委員会に所属しており、その立場で考えられるので、分かりやすかったように感じた。その一部を紹介する。

- 【図書・掲示委員会】・・・自分がいらなくなった本を図書室に寄贈する。
- 【保健・給食委員会】・・・せっけんを詰め替える時に、できるだけこぼさないようにする。
  - ・食べ物を残さないように呼びかける。
  - ・節水を心がける。
- 【整美・栽培委員会】・・・植物を植える。(みどりのカーテン)
  - ・電気を消す。
  - ・ペットボトルキャップを集める。
- 【放送・集会委員会】・・・集会でいろいろな国の子どもたちを紹介する。



各委員会で話し合いをして、ワークシートに記入

今回は、児童自らが考えること、SDGsの視点をもって委員会活動を見直すことに注力した。この学習をきっかけに、具体的な取組につなげていくことが大切だと考えている。今後も指導を続けていきたい。

**『私』が望んでいることは、同じかな？違うかな？**

多文化共生の視点で、児童と一緒にワークショップを行った。

**【すすめ方】**

- ①自分が「日本人」という立場から、ダイヤモンドランキングを完成させる。  
「あなたが、外国から来た同級生に望むことはなんですか？」
- ②自分が「外国人」という立場から、ダイヤモンドランキングを完成させる。  
「あなたが、外国に行った時に、同級生に望むことはなんですか？」
- ③ダイヤモンドランキングを比較して、考えたことを交流する。  
「2つのダイヤモンドランキングを比較して、どのようなことを考えましたか？」

ワークシート① (両面印刷)

**『私』が望んでいることは、同じかな？違うかな？**

( )年 ( )組 氏名 ( )

ダイヤモンドランキングー ①「日本人」の立場から

1位 1枚

2位 2枚

3位 3枚

4位 2枚

5位 1枚

ダイヤモンドランキングー ②「外国人」の立場から

1位 1枚

2位 2枚

3位 3枚

4位 2枚

5位 1枚

ダイヤモンドランキングで使用するカード  
(コピーして切り離してください)

①自分の国の言葉で会話がしたい。(日本語または外国語)	②自分の国の文化(食事や遊び等)を紹介したい。
③友達になってほしい。	④そっとしておいてほしい。(話しかけないでほしい。)
⑤「○○○人だから」という偏見を、捨ててほしい。	⑥自分の国の人に接するように、平等に接してほしい。
⑦自分の国の文字を使って活動(交流)したい。	⑧進路の情報を教えてあげたい。教えてもらいたい。
⑨地域の人と仲良くなってほしい。(仲良くなりたい。)	

児童の考えの一部を紹介する。

①外国から来た②同級生に、こんなことをしてほしい。

- 第1位 「友達になってほしい。」
- 第2位 「自分の国の文化を紹介してほしい。」
- 第3位 「〇〇〇人だからという偏見を捨ててほしい。」

②外国に行った時に、同級生こんなことをしてほしい。

- 第1位 「自分の国の人に接するように、平等に接してほしい。」
- 第2位 「〇〇〇人だからという偏見を捨ててほしい。」
- 第3位 「友達になってほしい」



ダイヤモンドランキングを記入



「外国に行った時に、同級生にこんなことをしてほしい」は、イメージしにくい児童もいたが、想像しながら書くことができた。いろいろな立場で物事を考えることは、とても大切だとあらためて感じた。授業後の児童の感想の一部を紹介する。

- ・自分がされて嬉しいことを人にしてあげたい。
- ・して欲しいことは、よく似ていた。(複数回答)
- ・いろんな国の人と仲良くなりたい。

### 3. 最後に

今回は、第6学年を対象に国際教育に関するワークショップを行った。児童にとっては、日頃から国際教育について自分が考えていることを整理する時間になったといえる。今後は、高学年だけでなく、中学年にも分かるように内容を整理しながら、ワークショップに挑戦していきたい。そして、他の先生方にも国際教育に関するワークショップの面白さを伝えていきたい。